

# 釜ヶ崎夜間学校 ニュース

2012(平成24)年

1月10日号

第232号

毎年1月は、全国ホームレス概数調査の月なのですが・・・

年の初めに越年臨時宿泊所事前登録をすでに考える！？

野宿者数全体は減少、でも、野宿固定の割合が増えているようですが・・・

2007(平成19)年から、毎年1月に、「ホームレス概数調査」が全国で行われています。この場合の「ホームレス」というのは、路上や公園等で、目に見えるかたちで野宿している人たちのことです。ネットカフェや24時間営業の飲食店で夜をやり過ごす人たちは含まれていません。

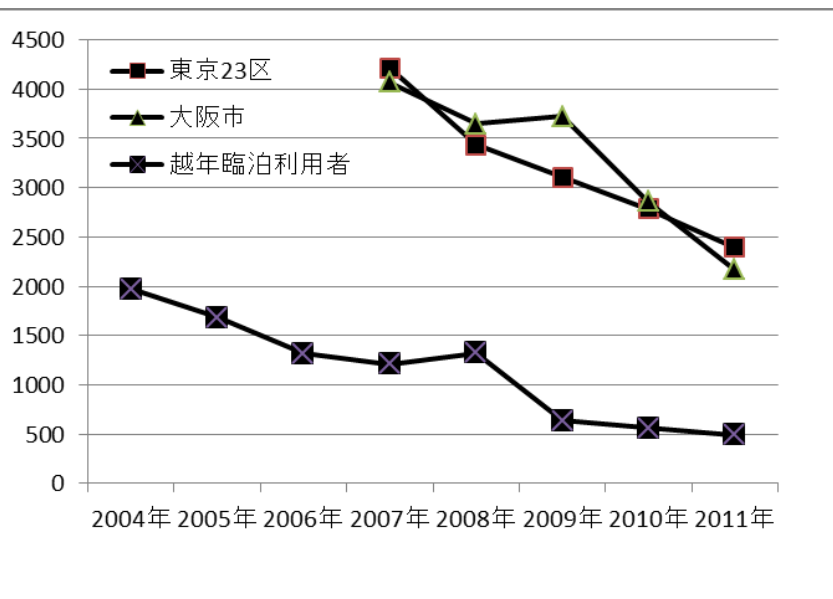
その概数調査によれば、全国的にも、大阪市内でも、「ホームレス」と把握された人の数は減少しています。大阪では、1998年の8660人が最高で、昨年1月の2171人と約4分の一に減少しています。今年1月の調査では、もっと減少した数字になると思われます。

越年対策の利用者も、1998年の2844人が最高で、今年の492人へと約5分の一に減少しています。大阪市内で野宿している人の中で、越年対策を利用した人の割合は、30〜35%でしたが、2009年には17%に減少しています(下の表参照)。

これは、釜ヶ崎の対策と市内野宿者との縁が薄くなつた現れと考えられます。いいかえれば、臨泊などいかず、公園や路上で野宿をして年末年始を過ごす事を選

択する人の割合が増えたということになります。

昨年末から今年初めの結果では、再び、野宿者の中での臨泊利用割合が高くなる傾向が見えます。今回1月の概数調査では、昨年より少ないホームレス数は減少していることでしょうか、もっと高く計算



		平成10年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
		1998年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
ホームレス概数	全国		25,296				18,564	16,018	15,759	13,124	10,890
	東京23区		5,927				4,213	3,436	3,105	2,786	2,396
	大阪市(a)	8,660	6,603				4,069	3,647	3,724	2,860	2,171
越年臨時泊利用者(b)		2,844	2,356	1,973	1,681	1,320	1,210	1,324	637	565	492
b/a		32.8%	35.7%				29.7%	36.3%	17.1%	19.8%	22.7%

されることになるかもしれません。

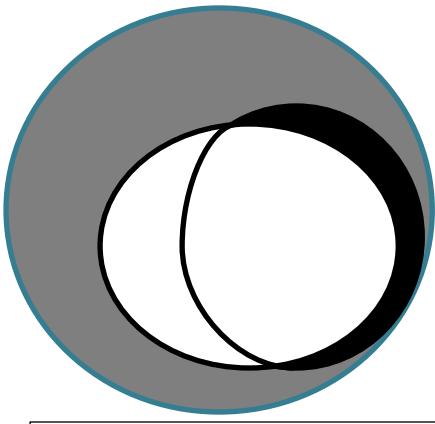
市内で野宿している人と釜ヶ崎対策としての越年対策との関係が、再び強まり始めた。そう見る事も出来ませんが、実は正しくありません。市内野宿者の概数は、減り続けています。臨泊の利用者も減り続けています。ただ、釜ヶ崎の中にあるシェルター利用者の減少は頭打ちになっています。

昨年末の臨泊の利用者数とシェルター利用者数は、ほぼ見合っているか、やや臨泊利用者の方が多いくらいと思われれます。

簡単に言えば、臨泊利用者の8割強は、夜間宿所（シェルター）利用者である、と。

臨泊利用者の大部分を占めるシェルター利用者の減少が少ないのに、市内ホームレス概数の減少割合が大きいのので、市内野宿者の中に占める臨泊利用割合が高くなるということです。

もつといえ、市内ホームレス概数の中には、当然、シェルター利用



上の図、灰色が「大阪市内ホームレス」です。黒色が「夜間宿所利用者」です。白色が「臨泊利用者」です。「臨泊利用者」が、夜間宿所利用者の多くと、その他の市内野宿者で構成されている事を示します。

者も含まれています。市内ホームレスの概数の中に占めるシェルター利用者の割合が大きくなっていることのあらわれということですね。

昨年の臨泊受付は、事前登録制でした。今年の年末も同じ事になると予想されます。

今回は、事前登録数と利用者数がほぼ見合っていました。臨泊開始直前になって、年末年始の過ごし方、寝場所に困るのでなく、かなり早くから、年末年始に「困る」と考えていた人が沢山居たことになりました。そのほとんどが、夜間宿所利用者であったと考えられます。

とすれば、今から、年末臨泊の事前登録をしても、決して、おかしくないことになります。

「人を馬鹿にするのではない。今から、年末の臨泊を当て込むほど萎えてはいない。今年こそ、なんとかなるのだ」

「なんとかかなる」「なんとかかする」。せめて、「なんとかかする」であることを願っています。

夜間宿所は、臨泊から臨泊へのつながりではありませんし、臨泊は、夜間宿所が閉まる間のつながりでもありません。

夜間宿所も臨泊も一時シノギに利用するものです。生活保護活用も一時シノギともいえませんが、まだ、安定性があります。